

ICTで授業をDX!

学年 小学校2年 教科 算数 など

Padletで全体への共有・交流を活発に!

使用するアプリケーション等

- ・ Padlet
- ・ PowerPoint
- ・ マークアップ
- ・ eライブラリ

単元・題材 九九をつくろう「かけ算(2)」

本時の目標 乗法九九を総合的に活用して問題を解決することができる。(思考力、判断力、表現力)

ICTを活用することで できること

《端末の使用》

- ・ 自力解決の手段を、紙にするのかマークアップ機能(iPad)を使うのかなど、表現方法を選択できるようにする。

《Padletの使用》

- ・ 自分の考えを全体に共有しやすくする。
- ・ 自力解決が難しい児童はpadletで友だちの考えを見ることでヒントにつなげられるようにする。

《Power pointの活用》

- ・ 実際に自分で動かす操作をすることで問題解決の理解を深められるようにする。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

拡大印刷した図を見ながらどうやったら数を求められそうか考える。
図を見て気付いたことを話し合う。

2 展開

めあて この中のチョコレートの数をくふうしてもとめよう。

課題 この中のチョコレートは、ぜんぶで何こありますか。
いろいろなもとめ方を考えましょう。

①自力解決

- 何算を使ったら求められそうか予想する。
- ノートに自分の考えを書く。
- 数人の児童に画用紙を配り、求め方を書いてもらう。

②考えの共有

- ホワイトボードを黒板に貼り、発表する。

③練り上げ

- どうやって求めたかや、似ている求め方などを話し合い、簡単に求められる方法を考える。

3 まとめ

チョコレートの数は、同じ数のまとまりにちゅう目すれば
かけ算をつかってもとめることができる。

①本時の習得内容を応用している課題に取り組む。

- 教科書の問題に取り組む。

②振り返りを行う。

- ノートに振り返りを書く。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- 大型テレビでだんだん数が大きくなっていくチョコレートが並んだ画像を見せ、数を求めることについての意識を高める。



児童が見つけたまとまりを、マークアップで全体に共有する。

2 展開

めあて この中のチョコレートの数をくふうしてもとめよう。

課題 この中のチョコレートは、ぜんぶで何こありますか。
いろいろなもとめ方を考えましょう。

①自力解決

- 端末上に自分の考えを図や言葉で表す。
- 紙でも考えられるようにワークシートを用意し、児童が選べるようにする。
- 紙で書いた児童は、書いたプリントを写真に写し、Padleにアップする。
- 考えができたらPadletに載せていく。
- 考えが思いつかない児童は、Padletで他の児童の考えを見ても良いことを伝える。



自分の考えをマークアップで書き込む

②考えの共有

- 発表はみんなの意見が集約される教師用Padletを大型テレビに写して行う。
- 児童は、大型テレビか自分の端末を見ながら説明を聞く。

③練り上げ

- どの方法が簡単に求めることができるか考える。
- 共通して何算を使って求めているかを考える。
- 「まとまり」「～ずつ」という概念が共通していることに気付く。

3 まとめ

チョコレートの数は、同じ数のまとまりにちゅう目すれば
かけ算をつかってもとめることができる。

①本時の習得内容を応用している課題に取り組む

- 端末を使用し、3つの考え方を再確認する。(分ける・移動・引く)
- 書き込むだけでは分かりづらい「移動」を実際に一人ずつPower pointを使用して体験する。

②振り返り

- eライブラリを使用して本時の振り返りを行う。



padletで、友達の考えを確認する

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ Padletを使用することで全体に自分の考えを共有することが簡単になった。また、以前のように自力解決の後に代表児童がホワイトボードに書く作業がなくなったため、練り上げの時間が多く取れるようになった。
- ・ Padletの「いいね」の機能を使用することで、児童が分かりやすいと感じる考え方が目に見えて分かったのが良かった。
- ・ イレギュラーな問題(フリーズ、サインインの不具合等)が起きたときに、授業内で教師が全てを対応することが困難である。